

2024年4月10日

関係者各位

(一社) 唐津観光協会

## 第12回 唐津やきもん祭りー食と器の縁結びー® 石川県珠洲焼復興支援チャリティー販売会を開催します！

今年1月1日の能登半島地震で甚大な被害を受けた石川県珠洲市は、伝統工芸品「珠洲焼」の産地で、陶芸家、窯元の被害が伝えられる中、第12回唐津やきもん祭りの開催準備を進めていた唐津焼陶芸家から、同じやきものの産地として何か支援ができないか、との提案があり、復興支援チャリティー販売会を開催することになりました。

- 1.開催日時 令和6年5月3日(金・祝)
  - 2.開催場所 旧唐津銀行
  - 3.実施内容 唐津焼陶芸家が提供する唐津焼を販売し、  
売上金を義援金として支援先に送ります。
  - 4.支援先 石川県 珠洲焼創炎会
- ホームページ <http://karatsu-yakimon.com/>



珠洲焼創炎会【窯元・陶芸作家】の公式サイトより <https://suzuware.jimdofree.com/>  
珠洲焼・須恵器の系統を継いだ黒灰色の焼き締め陶器

珠洲古陶は、

中世、能登半島の先端、珠洲(すず)の地に栄え、14世紀には流通が日本列島の四分の一に広がるほど隆盛を極めた珠洲古陶は、戦国時代に忽然と姿を消しました。その理由は今もはっきりとは分からず「幻の古陶」と呼ばれてきましたが、約400年の時を経て発祥の地によみがえりました。

珠洲古陶は、須恵器の系統を継ぎ、釉薬を使わずに穴窯で焼き締める技法を用いています。珠洲の土は鉄分が多く、薪で焼くことで還元がかかり、薪の灰が溶けて自然の粕薬となり渋い黒灰色となります。叩き紋、綾杉紋、印花紋、秋草紋などの装飾が施されているのも特徴です。

現在の珠洲焼は、その製法を受け継ぎ、黒灰色の焼き締めに基本としながら、様々な伝統に現代の技を加え、多様な作品が作られています。

石川県珠洲市及び旧珠洲郡内浦町地域に由来する「強還元炎焼成」「くすべ焼」を基本とする製法により同地域において採掘された陶土を主原料として、同地域で製造された陶器製酒器・茶器・食器類、陶器製花器、陶器製置物などと定義しております。



お問い合わせ

(一社) 唐津観光協会 担当: 山根・市丸

〒847-0816 佐賀県唐津市新興町 2935-1

TEL: 0955-74-3355 FAX: 0955-74-3365

Email: expe@karatsu-kankou.jp

